

「意思決定」を支え実現する社会にむけて、 これからの『意思決定支援』を考える 開催要項

1. 趣 旨

—どんなに重い障害や認知症があっても、適切な判断が自分ではできないと周囲から見られていた人たちも、意思決定に向けての様々な支援があれば、その人なりの決定ができる—今、意思決定に困難を抱える人たちに対する見方や支援の転換が、国際的に大きな潮流となっています。

2014年、日本は国連の「障害者の権利に関する条約」（略称、障害者権利条約）に批准しました。そのような中、成年後見制度をはじめ、生活支援や福祉サービス等における様々なふりかえりや見直しなど、日本でも議論がおり、まさにそのパラダイム転換への動きが起きています。

本フォーラムでは、このような動向と今、求められる権利擁護・意思決定支援について学び、その実現に向け、本人や家族、支援関係者、それぞれの立場からどのように協働していけるのかを考えることを目的に開催します。

2. 主 催 社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会
3. 日 時 平成28年3月15日（火）13:20～16:00
(受付 12:45～)
4. 会 場 県立長寿社会福祉センター大教室 [草津市笠山7丁目8-138]
5. 対 象 県内に在住・在勤の方
(福祉関係職員、相談支援担当職員、民生委員児童委員、人権擁護委員、成年後見人、権利擁護支援センター・成年後見サポートセンター、地域活動関係者、その他関心のある方)
6. 定 員 300名
7. 参加費 無 料
8. 申 込 別紙申込書によりお申し込みください。
(ファックスまたは郵送でお申し込みください)

9. 申込期限 平成28年3月7日(月) <必着>

10. プログラム

時間	研修内容・講師
12:45～	受付
13:20～13:30	あいさつ・オリエンテーション
13:30～16:00 (※質疑応答を 含む)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">講 演</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「意思決定支援」の理念や基本的な考え方について ○ 「意思決定支援」をめぐる動向について ○ 「意思決定支援」を進めていくうえでの現状と課題について ○ 「意思決定支援」の今後のあり方について </div> <p style="text-align: center;">≪ 講 師 ≫ 野澤 和弘氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日新聞社論説委員 ・ 植草学園大学客員教授 ・ 東京大学非常勤講師、上智大学非常勤講師 ・ NPO法人 P a n d A - J 副代表 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1983年毎日新聞社入社。いじめ・引きこもり・薬害エイズ・児童虐待・障害者虐待などの取材に取り組む。社会部副部長、夕刊編集部長などを経て2009年から論説委員〔社会保障担当〕。</p> <p>元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員、厚労省「今後の精神保健のあり方検討会」委員。厚労省「障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修」講師など。</p> </div>

11. アクセス

電車・バスの場合

- JR 瀬田駅から
- バスで約 15 分
- 帝産バス
- 長寿社会福祉センター行き

- JR 南草津駅から
- バスで約 20 分
- 帝産バス
- 草津養護学校行き

～ 問い合わせ先 ～

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

地域福祉部 資金・相談支援課

TEL : 077-566-4491 FAX : 077-566-3581